

2021年度 新人看護職員年間教育計画

	目標	具体的内容・方法	新人院内集合研修	新人院外研修
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の概要を知る ・病棟の環境に慣れる ・病棟での役割・業務を理解することができる ・社会人としての自覚を持ち、必要なマナーを身につけることができる ・病棟の一日の流れを知る ・指導を受けながら看護技術を実践することができる ・報告・連絡・相談を理解することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・新人オリエンテーション ・病棟オリエンテーション ・集合研修 ・指導者の日勤業務・部屋持ち業務を見学、共に行動し(数日)一日の流れを理解する ・指導者とともに患者を受け持ち、情報収集、マニュアルに沿った基本的看護技術を実践し、その必要性や方法、報告・連絡・相談を理解する ・患者受け持ちは一人から開始し、状況により数人へ増やしていく ・指導者とともに病棟内の物品等の場所、管理方法を知る 	(4/1~4/2)新入職員オリエンテーション (4/5~4/9)新人看護師オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・病院の理念、看護部の理念 ・ビジネスマナー、接遇 ・看護倫理 ・安全管理 ・感染管理 ・電子カルテ操作 ・物品管理 ・看護記録(記録の概要・看護必要度) ・看護技術(バイタルサイン測定・採血・静脈注射・ポジショニング・移乗・移送) 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・日勤の業務の流れが分かる ・指導者と共に、患者の情報収集をもとに一日のスケジュールを立て看護ケアを実践することができる ・異常、正常を理解し、報告・相談することができる ・患者とコミュニケーションを図ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者とともに必要な情報収集を行い、患者の状態を把握する ・ワークシートを活用し、指導者とともに一日のスケジュールを立てる ・手順や必要性を確認した上で、指導者とともに検温・看護ケアを行う ・看護ケアを実施した後の確認を行う ・実施した内容や結果を、指導者へ報告する ・指導者は、対象者が意思表示できるように声かけを行う 	(5/10)看護記録①(SOAP:記録の書き方) (5/12)胃管留置カテーテル挿入と管理 (5/19)尿管留置カテーテル挿入と管理 (5/26)安全管理(KYT①)	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者と共に部屋持ち業務ができる ・一日のスケジュールをたて看護ケアを実践できる ・3ヶ月の振り返りを行い、現状を客観視することができる ・3ヵ月技術チェック提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の状態や看護ケアについて疑問点を明確にし、その日のうちに振り返る ・指導者は、対象者が看護ケアに積極的に取り組めるように声かけを行う ・その日実践した看護ケアについて振り返り、次への課題とする 	(6/2)歩行介助 (6/9)新入職員BLS研修 (6/16)輸液ポンプ・シリンジポンプ (6/30)1day研修 看護協会オンデマンド研修(フレッシュユナース・感染管理) リフレッシュ研修(3ヵ月フォローアップ)	(6/30)看護協会オンデマンド研修 ・フレッシュユナースセミナー ・新人看護師のための感染予防の基礎知識
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・自部署で経験できない技術を他部署で経験することができる ・部屋持ち患者の情報収集とスケジュールを立てることができ、責任を持って看護を実践できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・5日間、ローテーション研修を行い、自部署で経験できない技術を経験する ・患者の状態や業務の進捗状況により、スケジュール調整を行い、計画した看護ケアを実践する ・患者の状態や実践した看護を整理し、次の勤務者へ申し送る ・その日の情報収集やスケジューリング、看護実践を振り返り、次への課題とする 	(7/5~7/9・7/12~7/16)ローテーション研修 (7/26~30)他部署研修:放射線課	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・助言を受けながら、一人で部屋持ち業務を実践できる ・助言を受けながら、入院受け業務を行うことができる(病棟の状況により開始時期は8月~10月とする) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日のスケジュール調整を行い、計画した看護ケアを実践する ・1日の看護・業務を振り返り、次への課題とする ・入院受け業務を指導者と共に行い、看護実践に必要な情報を理解し収集する 	(8/4)1day研修 看護協会オンデマンド研修(フィジカルアセスメント①②) 他部署見学:中央材料室 安全管理(KYT②) (8/11)看護記録②(計画立案) (8/25)多重課題	(8/4)看護協会オンデマンド協会 ・看護に活かすフィジカルアセスメント
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスに積極的に参加できる ・平日の日勤以外の業務を行うことができる(早出・遅出・入浴など) ・6ヶ月の振り返りを行い、自己の課題を見つけることができる ・6ヵ月技術チェック提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスに参加し、患者の状態報告や問題提起、自分の意見を述べるできるよう、指導者は助言する ・患者の状態を的確に申し送りできるよう指導者は助言する ・平日の日勤業務以外の業務を行う 各病棟の状況に応じ、日勤以外の業務を開始する。指導者とのダブル勤務は、2回以上実施 	(9/22)1day研修 看護協会オンデマンド研修(医療安全) 他部署研修:検査課 6ヵ月フォローアップ研修	(9/22)看護協会オンデマンド研修 ・基礎から学ぶ医療安全
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち看護師の役割を理解し、看護の展開ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者とペアで患者を受け持ち、入院・転入から退院までの流れや、受け持ち看護師の役割を学ぶ ・指導者とペアで、アナメネーゼ聴取・看護計画立案、看護計画の評価を行う ・指導者は、退院後も含めた看護の展開ができるよう指導する ・ローテーション研修を行い、他病棟の特徴や未経験の技術を学ぶ 	(9/27~10/1・10/4~10/8)ローテーション研修 (10/13)褥瘡予防の基礎知識	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち患者を通して、入院から退院までの流れを理解し、看護過程の展開ができる ・患者・家族とのコミュニケーションを図ることができる ・急変時の対応ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 一人で患者を受け持ち、退院調整など多職種との連携や家族との関わりを通して、受け持ち看護師としての役割を学ぶ 看護サマリーを作成する 病棟で起こりうる急変やその対応を、集合研修や病棟ごとの指導で学ぶ 	(11/8)看護記録③(看護記録の監査) (11/24)室息時の対応	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤業務の流れを理解することができる ・9ヵ月の振り返りを行い、自己の課題を見つけることができる ・9ヵ月技術チェック提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者とペアで夜勤業務を行う 指導者との夜勤は、3回行う 1回目:シャドーイング(指導者主体で、できるところは行う) 2回目:新人主体で行い、指導者は必要に応じて指導または助言する 3回目:新人主体で行い、指導者は評価する 2回目・3回目の状況进行评估し、4回目を行うかひとり立ちにするか各病棟で検討 	(12/22)1day研修 安全管理(KYT③) 9ヵ月フォローアップ研修 他部署研修:薬剤課	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・指導を受けながら夜勤業務を行うことができる 			
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤業務を自立して行うことができる 			
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間を振り返り、目標の達成状況を評価し、次年度の自己目標を立てることができる ・12ヵ月技術チェック提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向けて課題を整理し、主目標・具体的計画を立案する 	(3/2)12ヵ月フォローアップ研修	